

とちぎ創生15戦略の現状評価により抽出した課題一覧

○基本目標1 とちぎに安定したしごとをつくる

No	戦略	課題
1	【戦略1】 ものづくり県の更なる発展と新産業の創出	＜県内企業への経営支援＞ 中小企業の成長発展と小規模企業の事業の持続的発展を図るため、「栃木県中小企業・小規模企業の振興に関する条例」の趣旨を踏まえ、創業や企業の生産性向上への支援に取り組む必要があります。
2	【戦略2】 成長産業へ進化する農業の確立	＜県産農産物のブランド力強化＞ 県産農産物の特徴や魅力を最大限に引き出す生産・販売・PRなど、総合的なブランド化の取組を戦略的に進める必要があります。
3	【戦略4】 国内外からの観光誘客強化	＜DCの積極的な推進＞ 東京オリンピック・パラリンピックを見据えながら、平成30年のデスティネーションキャンペーン（DC）を最大の好機ととらえ、DCの成功はもとより、DC後も多くの観光客から“選ばれる”ワンランク上の観光地づくりに取り組む必要があります。
4	【戦略5】 多様な人材が働きやすい就労環境づくり	＜県内企業の人材の確保・育成＞ 本県産業の活力を高めるためには、県内外からの人材の確保を進めるとともに、本県の強みを生かした分野や人手不足分野の人材育成を強化する必要があります。

○基本目標2 とちぎへの新しいひとの流れをつくる

No	戦略	課題
5	【戦略8】 とちぎへのひとの還流の推進	＜Uターン対策の強化と企業との連携＞ UIJターンの更なる促進に向け、本県出身者を中心としたアプローチの強化や、官民連携による支援策の充実など、取組を強化・加速していく必要があります。